

庄内川の石は地球からの贈り物！

1.はじめに

名古屋市教育スポーツ協会のイベントで下志段味橋付近の川原にはどのような種類の石があるか調べてみました。採集した石から色々とおもしろいことがわかりました。

2.名古屋市の大地について

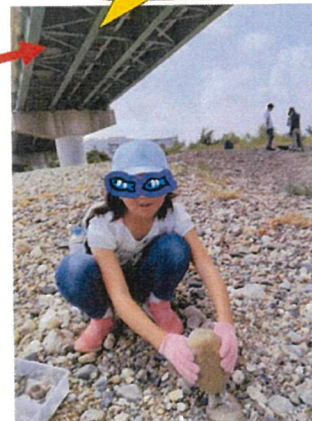
約200万年前、名古屋は海月の底でした。その後、海や川の底になり、約1万年前に、だんだん水が引いて今の大地になりました。庄内川の河原の石も、以前は上流の山をつくらっていた岩石でした。名古屋の街の地面を掘ると丸い石が出てくるそうです。これは流れる水の働きで土地ができたことがわかります。

3.石の採集場所について

下志段味橋付近は中流域のため、河原の石は小さくて丸いです。川が蛇行している内側で、採集を実施しました。理科の授業で学んだ通り、蛇行の内側は流れがゆるやかでたくさんの石がたい積していました。



【採集場所】



【採集している様子】

4.実際に採集した石について

今回、採集した石は5種類に分類することができました。

種類	説明	写真
石少岩 (堆積岩)	石の小さな粒が固まってできた岩石 ルーペで見ると粒が丸い わかった！ 海底が隆起して山となった	
泥岩 (堆積岩)	泥が固まってできた岩石 石より細かい粒でできている わかった！ 海底が隆起して山となった	
チャート (堆積岩)	海底に生物の死骸が積み重なってできた岩石 黒茶、赤、白など様々な色をしているものがある	
花こう岩 (火成岩)	地中の深い所でマグマが固まった岩石 光っている石英、黒雲母、白長石 わかった！ マグマがゆっくり冷えてできた	
溶結凝灰岩 (堆積岩)	火山の噴火による火山灰が高温で積み重なると高温で溶けて固まった岩石 わかった！ 大きな噴火があった	

5.感想

採集をはじめた当初には、石の種類を区別できませんでした。先生に分別するポイントを教えてもらい楽しく取り組めました。石にはたくさん種類があり名前がついていることにも驚きました。石からその土地の様子や火山があったことまで知ることができ、もっと石について学びたいと思いました。